

2004年2月号

〔発行〕日本エルガード協会広報委員会
(事務局)東京都千代田区六番町6-28
住友大阪セメント(株)建材事業部内
TEL03(5211)4756 FAX03(3221)5183
office@elgard.com

新春に臨み一言

日本エルガード協会会長 茂田 隆重

昨年末からBSE、鳥インフルエンザなど欧米化したつづある日本の台所を直撃する事件に遭遇し、改めて危機管理の重要性を再認識させられました。

さて、2003年度は、カタログ・技術資料集などの内向けの活動から、協会から各地に足を運び直接PRするという外向けの企画を立案、「発注者向け技術説明会」を東京、大阪、金沢、名古屋、福岡、沖縄の6箇所で開催し、総勢500余名の構造物を管理される方々に電気防食の最新情報をお伝えすることができました。また、東京、大阪では「技術講習会」を実施し、200余名の方が電気防食技術の養成課程を修了されました。

協会の知名度が瞬く間に地方に浸透するスピードに感心しつつ、愈々本格的な保全の時代の到来を予感し、2004年度の協会の事業展開に大いに期待を寄せています。このようなPR活動の成果を踏まえ、本年も更に継続した発注者向け広報活動を実施したいと考えています。また、参加者の質問、疑問に対しても、会員各社にフォローをお願いし、1つでも2つでも電気防食工事の掘り起こしにつながればと思っています。

現在、「Q&A集」をグレードアップ、出版の準備が進められています。また、「技術講習会」も単なる技術研修ではなく、「技術認定制度」の養成講習に衣替える予定です。協会活動はますます充実して参ります。

景気は総体的に上向きだそうですが、業界間格差、企業間格差は広がる一方です。少なくとも暫くは土砂降り状態が続くことと思われます。しかし、価値のあるものは景気に関係無く売れているのもまた事実です。

会員の皆様も「電気防食の価値」を大いにアピールしていただき、採用実績がより一層拡大されますよう宜しくお願いします。



平成15年度第3回理事会の報告

平成15年度第3回理事会が開催され、委員会活動状況が報告されました。審議事項は特にありませんでした。

開催日時など

開催日時：平成15年12月02日(火)16~17時

開催場所：住友大阪セメント株式会社2F204会議室

出席者：茂田会長、今村副会長、八田理事、古田理事
(代理内藤部長) 白石理事、山内理事、小袋理事、事務局

決議事項

下記報告事項は了承されました。

1.平成15年度第2回理事会議事録

報告事項

下記報告事項は了承されました。

1.各委員会活動報告

電気防食講演会(福岡、沖縄)開催報告

福岡会場：2003年10月20日(金)101名参加

「コンクリート構造物の寿命予測と維持管理の役割」(武若助教授:鹿児島大学)

沖縄会場：2003年11月20日(水)

145名参加

「塩害とその補修方法」

(大城校長:沖縄職業能力開発大学校)



委員会活動状況の報告

技術委員会 幹事 内藤 英晴

活動状況

- 10 / 2 第19回技術委員会
- 11 / 19 第20回技術委員会
- 12 / 18 第21回技術委員会
- 1 / 27 第22回技術委員会
- 2 / 13 技術者認定WG

活動報告

技術委員会では、電気防食工法の信頼性向上を目指して、補修材料の電気抵抗測定手法および評価手法の開発などに取組んでおり、その成果は今年、高知で開催される日本コンクリート工学協会年次講演会で発表する予定です。

また、このような研究開発と併せて、これまでの技術講習会を発展させた、エルガード工法の技術資格認定制度の導入についても検討を行っております。

更に材料学会に設置された「アルカリ骨材反応を受けたコンクリート構造物の電気化学的防食工法の適用性に関する検討委員会」にも数名の委員が参画し、電気防

食工法普及のための技術的課題にも取り組んでいます。

Q&A - WG 活動状況報告

当ワーキングではこれまで広報資料としてのQ&A集を作成し、会員の皆様に利用してきて頂きました。このQ&A集を入手したいという一般の方々からの要望も多くあったことから、一般書籍として販売することにより、多くの方々に電気防食工法を知っていただくことに致しました。電気防食についての知識が少ない方々にも理解していただけるよう、これまでのQ&A集を見直すなど、WGでは出版に向けた作業を進めてきました。そして、今年の4月末頃には(株)山海堂から「コンクリート構造物の電気防食 Questions & Answers(仮称)」として出版予定ですので、勉強材料として、また工法普及の営業ツールとしてもご活用いただきたいと思います。

施工委員会 施工委員長 山内 嘉雄

平成7年にバブル崩壊が完了し、小渕政権の大規模な景気浮揚策で再び回復していた日本経済の景気は、森・小泉政権の緊縮財政や不良債権処理優先という景気抑圧政策で、再悪化しています。さらに、不景気による建設不況にむち打つように、マスコミ等による「公共事業が悪とする主張」で建設業のイメージはダウンしています。建設関係業界の年頭挨拶では、各業界共、「逆境に耐えて頑張ろう」の掛け声ばかりで、具体的対策についての提言は見当たりません。

今こそ、塩害・中性化等によるコンクリート構造物の劣化のメカニズムと、それに対し、電気防食工法が非常に有効であることを、管理者に十分理解して貰い、我が日本エルガード協会は、優れた電気防食の技術を駆使し、物言わぬコンクリート構造物の劣化を阻止し、社会資本を守っていくべき時と思います。

施工委員会は施工技術の研鑽に努め、上記の推進に邁進したいと思います。

広報委員会 広報委員長 白石 弘

電気防食技術講演会の継続実施について

当協会では、平成15年度から発注者向け技術講習会『コンクリート構造物の塩害劣化対策と電気防食技術の動向』を全国各地で開催しています。

平成15年度は、6月大阪、7月北陸、8月東京、9月名古屋、10月福岡、11月沖縄と全国6会場で開催しました。

平成16年度は、5月から10月までの毎月、札幌・仙台・新潟・横浜・神戸・広島、の全国6会場で開催する予定で計画しています。

電気防食技術講演会の内容は平成15年度と同様に、

第一部が学識経験者による特別記念講演、第二部が協会側講師による技術講習の予定です。

これらの講演会や講習会を通して、発注者と会員各社との関係や理解を深めて、電気防食工法の普及に役立つことを期待しております。

開催準備および現地開催にあたっては、事務局および会員各社の皆様のご協力を、よろしくお願いたします。活動状況

- ・ 12 / 18 第21回広報委員会
- ・ 2 / 6 第22回広報委員会

今後の予定

- ・ 第4~6回電気防食説明会の開催
- ・ 電気防食説明会特別講演ビデオ上映会の開催
- ・ LCCおよび適用事例集の審議

今後の協会行事日程

年	月	日	行事
16	2	25	第23回技術委員会
	2	27	平成15年度第4回理事会
	3	02	第23回広報委員会
	3	02	説明会ビデオ上映会
	4	02	第23回施工委員会
	4	02	第24回技術委員会
	4	27	平成16年度定時総会

事務局からの連絡

大野事務局長より「今年の抱負」

昨年7月に、田中均前事務局長と交代してからは、引継ぎ書と議事録等、過去の記録をたよりにやってきましたが、会員各位の寛大なご支援により、未熟ながら何とか事務局業務を遂行させていただいております。取り敢えず、何とか年を越すことができ、ホッとしました。今は、次年度事業計画のヒヤリングおよび事業予算案の作成と2月下旬の理事会準備、4月下旬の総会前準備を行っているところですが、理事会以外は全くの初体験。大変ではありますが、前年度の資料を参考にさせていただきます、関係者の話を伺いながら少しずつではありますが前進しているところです。

次年度予算から事務局運営方針も大野流にアレンジしていこうと考えております。

基本方針は、次の3点です。

- 個々の事業計画の予算化を明確にし、各委員会で予算管理できるようにすること。
- 事業実施前に必ず実行予算を作成し、実施後に差異分析できるようにすること。
- 事業目標を明確にし、事業成果を必ず確認することにより、効果的な施策を実施すること。

エルガード通信に関する会員皆様のご意見をお寄せ下さい。